

平成20年度 第2回見沼区区民会議 議事録

日 時	平成20年5月29日（木） 18:30～20:30
会 場	見沼区役所 地域活動室
出席者 (敬称略)	<p><委員> 猪狩忠雄(異業種交流会WES21)、伊藤邦介(公募委員)、大川野英子(見沼区民生委員・児童委員協議会)、木下毅(公募委員)、合谷憲治(青少年育成さいたま市民会議 見沼区連絡会)、小山静江(さいたま商工会議所)、白瀧康次(NPO法人 地域人ネットワーク)、田口和子(さいたま市保健愛育会 見沼区支部)、田中秋弘(埼玉中央青年会議所)、中澤恒雄(公募委員)、長沼和子(公募委員)、中村とさ子(公募委員)、西尾真治(公募委員)、野崎初太郎(見沼区自治会連合会)、林一三子(まちづくり市民ネットワーク・さいたま 見沼区部会)、高橋年雄(七里地区社会福祉協議会)、丸山深雪(さいたま市交通安全保護者の会(母の会)見沼支部)、宮本英典(さいたま市PTA協議会 見沼区連合会)、横田洋子(SSC見沼区スポーツクラブ)</p> <p><見沼区> 浅見孝雄(区長)、安藤徳雄(副区長)、櫻沢健司(区民生活部長)、大澤成夫(健康福祉部長)</p> <p><事務局> 中村友一(区民生活部コミュニティ課長)、金井利夫、長谷川彰、鈴木喜菜(区民生活部コミュニティ課)</p> <p><コンサルタント> 安部邦昭(NPO法人都市づくりNPOさいたま)</p> <p><傍聴者> 0名</p>
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 前回議事録の確認 (2) 部会報告確認事項 3. その他 4. 閉会
資 料	<p>平成20年度 第1回見沼区区民会議 議事録案</p> <p>生活安全部会報告</p> <p>見沼区生活安全標語選定事業計画書(案)、見沼区生活安全標語選定実行委員会規約(案)、名簿、予算書(案)</p> <p>ネットワーク部会報告</p> <p>自然環境部会報告</p> <p>広報委員会報告</p> <p>見沼区区民会議だより第12号</p> <p>見沼区区民会議平成19年度活動報告書</p>

以降は、委員の発言等に基づき、会議内容の骨子をまとめたものです。従って、会議の趣旨や発言の関連性に照らし、同様の意見の集約、発言順の編集等を行っています。

■議事

(1) 前回議事録の確認

・見沼区の蝶の選定について

事務局：第1回議事録3頁、自然環境部会報告で「蝶を選定した」とありますが、選定したとしてよいのか、今後再検討するのなどの意見がありましたので確認をお願いします。

委員：見沼区らしい蝶であれば、そちらでもよいのではないか？

委員：ツマキチョウなどは、アンケートには入っていない。アンケートの結果を尊重することが重要。また、シンボルの選定と、学術的な話はあまり関係ない。基本的には、アンケート結果として公表してはどうか？数年後には、また変わるかもしれない。

委員：ツマキチョウは学術的というより、深作川などに生息する地域を代表する種。本来は、候補に含めるべきであった。今回はアンケート結果として公表し、かつ付帯意見を付けてはどうか？

副会長：今回の結果は付帯意見を付けて発表し、その上で改めて対応を検討したい。

(2) 部会報告確認事項

[生活安全部会]

<生活安全部会長より報告>

※配布資料「生活安全部会報告」を参照

(防災対策について)

防災対策について、さいたま市へ確認した結果は以下の三点です。

- ①当面、避難所の耐震診断や、避難経路のチェックを行いたいとし、調査を進めている。
- ②耐震診断については、市内の公共施設・小中学校は、全て診断を完了している。耐震補強工事が未了の建物についても、順次工事を実施している。
- ③「避難経路」は、市内では特に指定していない。これは、山間地のように避難ルートが地理的要件から限定されない為で、逆に限定することにより無用な混乱を招くものと考えているため。

・部会では、区民に、危険な場所、心配な場所を指摘してもらい、是正を要請することを検討している。

・区民会議だよりの8月号で呼びかけることを検討している。

(ホームページへの書き込みについて)

・区民会議のホームページ内にある掲示板へ、「不法駐輪や喫煙が減っていない」との書き込みがあった。これに対する返答について、意見を伺いたい。

(質疑)

広報委員長：掲示板への書き込みや回答は、誰でも行える。

委員：不法駐輪の対策は、行政ではどこの管轄か？

事務局：市の都市施設課が担当である。

委員：市の腕章を付けた係員が、時々自転車を撤去しているのを見たことがある。

部会長：悪質なものは警察に通報しても良いかもしれないが、不法駐輪の多くは買い物客ではないか？

委員：イベントがある際は、事前に通告するが、それでも不法駐輪はある。そのような場合は、警察にお願いすることもある。

委員：書き込みの趣旨は、「どこの部署がどのような対策を行っているか？」を聞いていると思われる。この点に留意した回答が必要。

部会長：6月9日の部会で文案を決定し、回答することにする。

(標語募集の取り組みについて)

※事務局より、見沼区生活安全標語選定事業計画書(案)、見沼区生活安全標語選定実行委員会規約(案)、名簿、予算書(案)についての説明があった。

- ・自治会を通じての広報は、諸事情によりやめることとした。
- ・ポスターと、チラシを作成の予定。
- ・実行委員会の役員には、委員長：小島会長、副委員長：合谷生活安全部会長、監事：丸山副会長、西尾ネットワーク部会長がそれぞれ就任することとなった。

[ネットワーク部会]

<ネットワーク部会長より報告>

※配付資料「ネットワーク部会報告」を参照

- ・現在、拡大区民会議の準備を進めており、主に、集客の方法について検討している。
- ・会長名で、各団体への参加要請文を用意している。送付先は、コミュニティ会議所属団体、区民会議委員の所属する団体、その他区民会議委員が推奨する団体を予定している。
- ・ポスターとちらしは、公民館やコミュニティセンターに配付の予定。
- ・分科会の資料を、各部会で進めて欲しい。参加者には、8月8日に送付の予定。

(質疑)

委員：ちらし内の、講演者である長沢さんの敬称を、「氏」としたほうがよい。

[自然環境部会]

<委員より報告>

※配布資料「自然環境部会報告」を参照

- ・5月7日に、深作川&アーバンみらい多目的遊水池周辺のゴミチェックに行ってきた。
- ・ビデオテープがケース毎に大量に捨てられていた。
- ・ビールやお酒の容器が道路沿いに多く見られた。飲酒運転をし、そのまま捨てたのではないかと心配している。
- ・葦原内に隠れた大量のゴミは、大雨の時に浮き上がり、流出する。

(質疑)

委員：毎月一回“里親の会”がごみ拾いを実施している。

委員：5月31日に、“ゴミゼロの日”のクリーン作戦が行われる。委員にも参加される方が多いと思うが、深作川周辺は調査結果を参考に進めて欲しい。

委員：てくてく見沼の際に、一緒にごみ拾いをしてはどうか。

委員：5月は、自治会でも清掃を行う予定がある。また子供達を対象にしたボランティアによるクリーン作戦を11月に行なっている。

委員：道路沿いのゴミは、地元外の人ではないか。最初に誰かがゴミを捨てると、ポイ捨ての連鎖が始まってしまう傾向にある。きれいにすれば、捨てにくくなる。

[広報委員会]

<広報委員長より報告>

※配布資料「広報委員会報告」を参照

- ・区民会議だより12号については、配付が始まっている。本号の編集については、委員会を開く時間がなかったことから、広報委員より個別にコメントを求め、集約を行った。
- ・ホームページの掲示板には、生活安全部会での報告にあった書き込みの他、中央区の方からも激励の書き込みがされていた。また、キャンドルナイトの宣伝も書き込まれた。

(質疑)

委員：深作川のゴミ問題についても、自然環境部会から書き込んでみてはどうか。また、各部会からも積極的に書き込んでどうか。

委員長：各委員にも積極的に活用していただきたい。

■次回会議日程

○役員会：6月18日（水）18:30～に決定した。

○全体会：6月26日（木）18:30～に決定した。